

令和6年度 事前評価点検表（内部評価）

1 事業概要

事業名	主要地方道 泉大津美原線 交差点改良事業	
担当部署	都市整備部 道路室 道路整備課 建設グループ（連絡先 06-6944-9280）	
事業箇所	大阪狭山市東野西（東野交差点）	
事業目的	本路線は、南海高野線北野田駅への主要なアクセス道路でありバス路線となっている。本事業箇所の東野交差点は、車道幅員が狭隘にもかかわらず、さらに路肩の電柱が支障となるため、大型車の離合が難しく離合待ちによる、交通渋滞も慢性的に発生している。このため、円滑な交通を確保することを目的に交差点改良事業を実施する。	
事業内容	交差点改良（左折レーン及び歩道設置） 事業延長：約 0.05 km （現況）道路幅員：5.5m 車道：2車線 [2.75m×2]  （計画）道路幅員：16.75m 車道：2車線 [2.75m×2 + 左折レーン 2.75m] 歩道：両側 [2.5m×2]	
事業費	全体事業費：約 1.9 億円〔国：1.0 億円、府：0.9 億円〕 （内訳）調査費等 約 0.3 億円 用地費等 約 1.0 億円 工事費等 約 0.6 億円	
	<b>【事業費の積算根拠】</b> 事業費は積み上げにより算出。	<b>【工事費の内訳】</b> 交差点改良工事 約 0.6 億円
事業費の変動要因	工事費については、概算額で計上しており、今後の詳細設計により変動する可能性がある。	
維持管理費	20 万円／年（道路部：33 万円/千㎡・年（過去 5 年府内実績より算出））	
関連事業	—	

2 事業の必要性等に関する視点

上位計画等における位置付け	・大阪府都市整備中期計画（R3.3 改訂）
優先度	・本路線が接続する一般府道河内長野美原線は大阪狭山市の緊急交通路に指定されていること。 ・大阪狭山市において用地測量、物件調査、用地買収などの協力が得られるため早期効果発現が見込めること。  以上のことから、本事業の優先度が高い。
事業を巡る社会経済情勢等	<b>【周辺道路の交通量】</b> 河内長野美原線：自動車交通量 10,047 台/日（R5 交通量調査） 泉大津美原線：自動車交通量 8,752 台/日（R5 交通量調査）  <b>【渋滞状況】</b> 最大渋滞長：260m（8 時 20 分～8 時 30 分）（R5 調査） 最大滞留長：320m（8 時 20 分～8 時 30 分）（R5 調査） 最大信号待ち回数：3 回（8 時 20 分～8 時 30 分）（R5 調査） 最大通過時間：6 分 40 秒（8 時 20 分～8 時 30 分）（R5 調査）  <b>【交通事故発生状況】</b> R2～R6（5 か年）：9 件  <b>【バスの運行本数】</b> 113 本/日
地元の協力体制等	・地元市等より早期整備の要望がある。 ・地元市において、当該事業に伴う用地交渉などの協力。
事業の投資効果 <費用便益分析> または <代替指標>	交通安全事業における費用便益分析手法は確立されていない。

事業効果の定性的分析 (安全・安心、活力、快適性等の有効性)	<p><b>【安全・安心】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車両の走行性の向上により安全が確保される。</li> </ul> <p><b>【活力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞緩和により物流の効率化に寄与する。</li> </ul> <p><b>【快適性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車両の走行性の向上により、快適性が向上する。</li> </ul> <p><b>【受益者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路利用者</li> <li>・地域住民</li> </ul>
-----------------------------------	--

### 3 事業の進捗の見込みの視点

事業段階ごとの進捗予定と効果	<p>令和7年度～令和8年度：詳細設計、用地測量、物件調査、用地買収</p> <p>令和9年度～令和10年度：工事</p>
完成予定年度	令和10年(2028年)度

### 4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

代替手法との比較検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両の走行安全性を確保するためには、交差点改良を行うことが最善策であり代替案立案等の可能性は極めて低い。</li> </ul> <p>以上のことから、原案が適切である。</p>
------------	--

### 5 特記事項

自然環境等への影響とその対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺は市街地が形成されており、本事業による新たに自然環境に与える影響はない。</li> <li>・本路線はバス路線であるため、工事期間中は施工時間等の調整を行い、公共交通に与える影響を最小限に抑える。</li> </ul>
その他特記事項	—

### 6 評価結果

評価結果	<p>○事業実施</p> <p>&lt;判断の理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業区間は、バス路線であるにもかかわらず狭隘な幅員であり、大型車の離合待ちによる、慢性的な渋滞が発生している。このため、円滑な交通を確保するため、交差点改良を実施することにより車両の走行安全性が確保される。</li> </ul> <p>以上の理由から、事業を実施する。</p>
------	---

令和6年度 事前評価(主要地方道 泉大津美原線 交差点改良事業)

